

世界標準債券ファンド（1年決算型） 〈愛称 ニューサミット（1年決算型）〉

運用報告書（全体版）

第8期（決算日 2022年7月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「世界標準債券ファンド（1年決算型）」は、2022年7月19日に第8期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2014年6月2日から2029年7月17日までです。
運用方針	主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<642363>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円		円		%	%	百万円
4期(2018年7月17日)	8,688		0	△ 5.3	—	96.8	504
5期(2019年7月17日)	8,946		0	3.0	—	97.0	434
6期(2020年7月17日)	8,922		0	△ 0.3	—	97.0	319
7期(2021年7月19日)	9,816		0	10.0	—	97.0	311
8期(2022年7月19日)	11,284		0	15.0	—	97.1	319

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

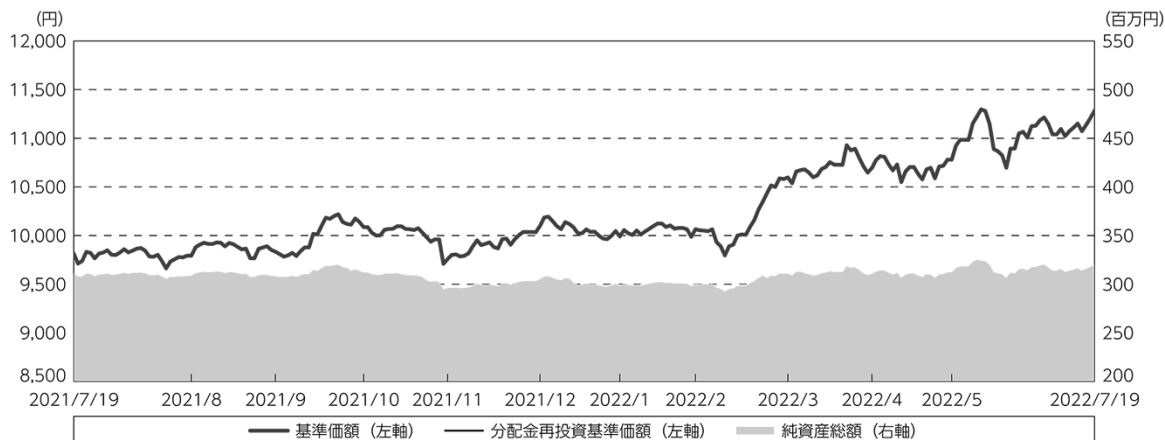
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2021年7月19日	円		%	%
7月末		9,816	—	97.0
8月末		9,825	0.1	97.2
9月末		9,793	△ 0.2	97.0
10月末		9,834	0.2	96.8
11月末		10,087	2.8	97.0
12月末		9,759	△ 0.6	96.6
2022年1月末		10,099	2.9	97.2
2月末		9,991	1.8	97.0
3月末		10,065	2.5	97.0
4月末		10,597	8.0	97.0
5月末		10,694	8.9	96.6
6月末		10,780	9.8	97.0
7月末		11,214	14.2	96.7
(期 末) 2022年7月19日		11,284	15.0	97.1

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

（2021年7月20日～2022年7月19日）

期中の基準価額等の推移



期 首：9,816円

期 末：11,284円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：15.0%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年7月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・保有債券からの金利収入を得たこと。
- ・カナダドル、メキシコペソ、インドネシアルピアなどの投資対象通貨が対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・メキシコ、カナダなどの債券利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。

投資環境

（海外債券市況）

カナダでは、経済は力強い成長モメンタムを維持しており、経済のスラック（需給の緩み）が吸収されたことを受けて超過需要局面に入ったと考えられます。このことは国内総生産（GDP）成長率の堅調な伸びによって裏付けられています。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大による2022年1月の労働市場の後退は一過性のものとなり、労働市場は順調に回復を続けているように思われます。雇用統計によれば、5月の失業率は過去最低を更新し5.1%まで低下しており、労働参加率は新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）発生直前の水準近辺まで回復しています。労働市場の力強さを背景に、家計支出はこれまで底堅い動きを続けてきましたが、インフレの急上昇を受けた金利上昇が消費者の消費性向を抑制する公算が高くなっています。こうした状況を背景に、カナダ銀行は6月の金融政策決定会合で政策金利を0.50%引き上げ1.50%にすることを決定しました。市場では、カナダ銀行が年内にさらに大幅な利上げを実施することが予想されています。

新興国市場では、人の移動や個人消費の増加を通じての経済正常化への回帰が結果的により持続的な物価上昇圧力につながっており、さらにさまざまな供給ショックによって物価上昇圧力は一段と強まっています。こうした状況のなかで、アジアを中心に多くの新興国の中央銀行が金融政策の正常化を推し進めることを迫られており、先行して金融引き締めサイクルを進めている新興国の中央銀行では一段の利上げを余儀なくされています。大半の中南米諸国では利上げサイクルが終わりに近づいている一方で、多くのアジア諸国では利上げサイクルが比較的初期の段階にあり、インフレ圧力があまり深刻でないことから、金融引き締めサイクルの規模は相対的に小さなものになると思われます。中国製ワクチンの有効性の低さや、自然免疫の不足などによって新型コロナウイルスに対する免疫が依然として世界平均より大幅に低い中国は例外的な存在になっています。中国では上海など主要大都市圏において実施されたロックダウン（都市封鎖）が、短期間ながら経済成長に深刻な影響を及ぼしました。これを受けて、中国当局は一段の景気刺激策の実施を発表するとともに、検査レベルの向上とより緩やかな隔離政策により新型コロナウイルスの感染拡大に対するアプローチを修正したとみられます。ロシアによるウクライナへの一方的な侵攻を受けて、地政学的リスクが欧州新興国市場の資産の先行き見通しに不透明感をもたらしています。影響の全容はまだ判明していませんが、西側諸国とロシアの金融関係が断絶していることはすでに明らかで、これが大幅な資産の減損損失の発生につながり、供給の途絶や信頼の喪失が成長見通しに悪影響を及ぼすと同時に、物価上昇圧力を増大させています。欧州新興国市場の中央銀行は現在でもすでに非常に困難な決定を迫られています。こうした状況下で一段と複雑なものとなっています。一方で、中南米やアジア地域の新興国経済がロシアのウクライナ侵攻によって著しい悪影響を受ける可能性は低いという見方をしています。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.02%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.12%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA）

当ファンドではメキシコペソの比率を高位に維持しました。高利回り、財政の規律、魅力的な通貨のバリュエーション（価値評価）、安定的な国際収支が相まって優位な状況にあります。メキシコは米国の供給網にとって重要な製造ハブであることから、米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）において独自の立場にあり、メキシコペソは他の新興国通貨に対して際立っています。米国のバイデン政権のもとで積極的な財政出動が見込まれるなか、国内への多くの送金や自動車を中心とした消費者の堅調な輸入需要がともに引き続きメキシコペソの追い風になると考えられます。

インドネシアルピアについては、引き続きインフレに対して魅力的な利回り水準を提供していることから、ポジティブな見方を維持しています。世界のコモディティ需要の高まりからも大きな恩恵を受けられる立場にあり、特に中国とオーストラリアとの間の外交関係が悪化するなか、石炭と液化天然ガス（LNG）の両方で市場シェアを拡大できる可能性があります。また、オムニバス法の可決は、国外からの参入障壁を引き下げ、労働の柔軟性を向上させることから、同国への構造的な外国直接投資を惹きつける明るい兆しとなります。

先進国通貨のなかでは、カナダドルを引き続き選好しています。原油価格の見通しについては、国際的な往來の規制が緩和され、世界的に海外渡航が再び増加するなか、楽観的な見方を維持しています。また、中国と米国およびオーストラリアとの間の緊張の高まりが継続した場合、供給網の分断が一段と進む可能性があり、米国の需要がますます北米からもたらされるなか、メキシコやカナダ両国の経済にとって追い風となります。当ファンドでは魅力的な利回りを引き続き提供しているカナダの州債を組み入れています。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2021年7月20日～ 2022年7月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,555

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

現在の戦略は、外的要因に大きく左右されることのない強固なストーリーに注目しています。中期的には、先進国の金融政策が過去に比べて緩和的に維持される見込みであること、また新興国が先進国の成長を上回るなか、新興国と先進国との間で成長の乖離が再び拡大するとみられることから、新興国市場に対して非常に強気な見方を維持しています。

当ファンドでは、インフレ率に対して金利が高く実質的なインカムの創出が高水準である市場、通貨のバリュエーションが魅力的な水準にあり長期的に上昇が見込まれる市場、構造改革に下支えされた長期的な成長ポテンシャルがある市場、制度的な信頼が強固である市場に着目し、引き続き積極的に新規投資機会を追求していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

（2021年7月20日～2022年7月19日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 117	% 1.144	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(41)	(0.396)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(73)	(0.715)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.100	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(10)	(0.096)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	127	1.244	
期中の平均基準価額は、10,228円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

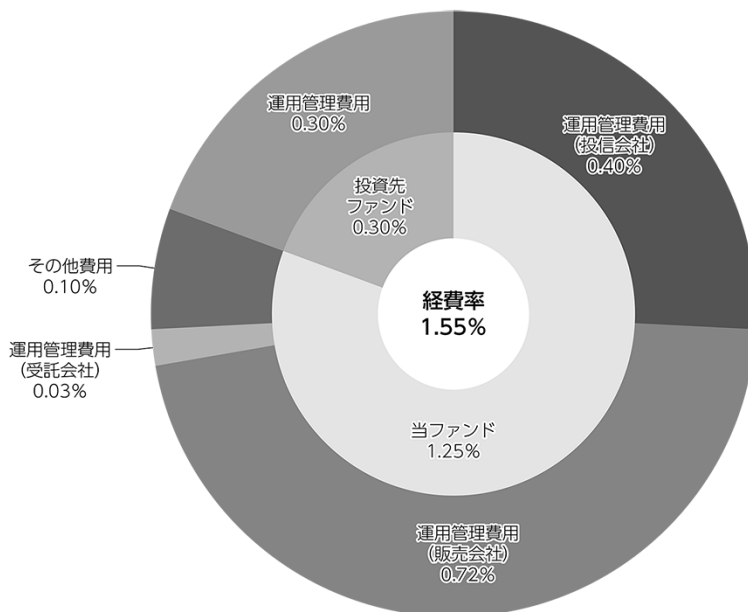
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.55%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.55
①当ファンドの費用の比率	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年7月19日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	千口 98,878	千円 36,375	千口 123,517	千円 45,826

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 23	千円 23	千口 26	千円 26

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年7月19日)

利害関係人との取引状況

＜世界標準債券ファンド（1年決算型）＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 36	百万円 36	% 100.0	百万円 45	百万円 45	% 100.0

＜マネー・アカウント・マザーファンド＞

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2021年7月20日～2022年7月19日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2021年7月20日～2022年7月19日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2022年7月19日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA		821,118	796,478	310,626	97.1
合 計		821,118	796,478	310,626	97.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	
		千口	千口	千円	
マネー・アカウント・マザーファンド		310	307	307	307

(注) 親投資信託の2022年7月19日現在の受益権総口数は、563,859千口です。

○投資信託財産の構成

（2022年7月19日現在）

項 目	当 期		末
	評 価 額	評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		310,626	96.5
マネー・アカウント・マザーファンド		307	0.1
コール・ローン等、その他		11,091	3.4
投資信託財産総額		322,024	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年7月19日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	322,024,380	
コール・ローン等	11,089,773	
投資信託受益証券(評価額)	310,626,765	
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	307,842	
(B) 負債	2,069,701	
未払解約金	70	
未払信託報酬	1,768,453	
未払利息	5	
その他未払費用	301,173	
(C) 純資産総額(A-B)	319,954,679	
元本	283,545,070	
次期繰越損益金	36,409,609	
(D) 受益権総口数	283,545,070口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,284円	

(注) 当ファンドの期首元本額は317,054,502円、期中追加設定元本額は4,993,119円、期中一部解約元本額は38,502,551円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.1284円です。

○損益の状況（2021年7月20日～2022年7月19日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	27,529,636	
受取配当金	27,530,773	
受取利息	3	
支払利息	△ 1,140	
(B) 有価証券売買損益	17,770,686	
売買益	18,563,057	
売買損	△ 792,371	
(C) 信託報酬等	△ 3,832,405	
(D) 当期損益金(A+B+C)	41,467,917	
(E) 前期繰越損益金	7,462,897	
(F) 追加信託差損益金	△ 12,521,205	
(配当等相当額)	(65,297,730)	
(売買損益相当額)	(△ 77,818,935)	
(G) 計(D+E+F)	36,409,609	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	36,409,609	
追加信託差損益金	△ 12,521,205	
(配当等相当額)	(65,297,730)	
(売買損益相当額)	(△ 77,818,935)	
分配準備積立金	148,931,636	
繰越損益金	△100,000,822	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2021年7月20日～2022年7月19日）は以下の通りです。

項 目	2021年7月20日～ 2022年7月19日
a. 配当等収益(経費控除後)	25,200,671円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	65,297,730円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	123,730,965円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	214,229,366円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,555円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2021年7月20日から2022年7月19日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA
	ルクセンブルグ籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	ソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると見られる国や地域の通貨建てのソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。 ・ 通貨選定にあたっては、金利水準を重視し、経済情勢、政治の安定性、市場の流動性なども考慮します。 ・ 原則として、買付時においてBBB(Baa)格相当以上の格付が付与されているソブリン債券に投資します。ただし、債務履行能力が高いと運用会社が判断した場合は、BB(Ba)格相当以下の国や地域のソブリン債券に投資する場合があります。 ・ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式への投資は行ないません。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.31%以内(国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資明細表

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2022年2月28日現在

数量/額面	銘柄	通貨	(単位：日本円) 市場価格	純資産に占める 割合 (%)
公式な証券取引所に上場している譲渡可能証券 債券およびその他の債務証券				
カナダ				
2,000,000.0000	BRIT COLUMBIA 2.95% 18-18/12/2028	CAD	189,484,650	2.8
2,050,000.0000	BRIT COLUMBIA 3.2% 12-18/06/2044	CAD	190,506,099	2.8
2,000,000.0000	BRIT COLUMBIA 5.7% 98-18/06/2029	CAD	222,553,156	3.3
5,000,000.0000	CAN HOUSING TRUS 1.9% 16-15/09/2026	CAD	452,753,223	6.7
5,000,000.0000	CAN HOUSING TRUS 2.55% 14-15/03/2025	CAD	463,400,418	7.0
1,240,000.0000	CANADA-GOVT 1.5% 19-01/09/2024	CAD	112,495,616	1.7
2,600,000.0000	CANADA-GOVT 2.75% 14-01/12/2048	CAD	265,000,820	3.9
1,000,000.0000	CANADA-GOVT 5.75% 98-01/06/2029	CAD	115,666,219	1.7
2,250,000.0000	QUEBEC PROVINCE 3% 12-01/09/2023	CAD	208,926,563	3.1
			2,220,786,764	33.0
ドイツ				
43,600,000.0000	KFW 7.5% 17-07/12/2023	MXN	243,363,005	3.6
			243,363,005	3.6
インドネシア				
40,000,000.0000	INDONESIA GOVT 7.375% 17-15/05/2048	IDR	331,247,343	4.9
67,000,000.0000	INDONESIA GOVT 7.5% 17-15/05/2038	IDR	561,056,292	8.3
60,000,000.0000	INDONESIA GOVT 8.25% 15-15/05/2036	IDR	536,779,088	8.0
			1,429,082,723	21.2
メキシコ				
50,700,000.0000	MEXICAN BONOS 10%06-20/11/2036	MXN	331,702,965	4.9
102,000,000.0000	MEXICAN BONOS 7.75% 11-29/05/2031	MXN	567,248,372	8.4
24,000,000.0000	MEXICAN BONOS 8.5% 09-18/11/2038	MXN	139,365,898	2.1
57,500,000.0000	MEXICAN BONOS 8.5% 09-31/05/2029	MXN	334,788,790	5.0
			1,373,106,025	20.4
国際機関 - 多国籍				
25,000,000.0000	ASIAN DEV BANK 0.5% 13-11/07/2023	MXN	125,619,991	1.9
22,000,000.0000	EURO BK RECON&DV 5.2% 21-28/05/2024	IDR	177,053,789	2.6
31,000,000.0000	EURO BK RECON&DV 5.6% 18-30/01/2025	IDR	251,125,088	3.7
17,200,000.0000	EURO BK RECON&DV 7.5% 19-15/05/2022	IDR	138,834,772	2.1
8,300,000.0000	INT BK RECON&DEV 0.5% 12-13/08/2032	MXN	21,258,552	0.3
2,500,000.0000	INT BK RECON&DEV 7% 18-24/01/2023	MXN	13,933,585	0.2
8,610,000.0000	INTERAMER DEV BK 5.64% 19-25/05/2023	MXN	46,655,030	0.7
53,141,000.0000	INTERAMER DEV BK 7.5% 07-05/12/2024	MXN	294,305,690	4.4
18,000,000.0000	INTERAMER DEV BK 7.875% 16-14/03/2023	IDR	143,119,024	2.2
4,300,000.0000	NORDIC INVST BNK 5.4% 19-23/12/2022	MXN	23,783,978	0.4
			1,241,689,499	18.5
			6,508,028,016	96.7
有価証券ポートフォリオ合計			6,508,028,016	96.7
純資産の要約				
有価証券ポートフォリオ合計			6,508,028,016	96.7
銀行預金			118,920,699	1.8
その他の資産および負債			100,017,550	1.5
純資産合計			6,726,966,265	100.0

ポートフォリオの内訳

セクター配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
政府	77.2	74.6
国際機関	19.1	18.5
銀行	3.7	3.6
	100.0	96.7

国別配分	ポートフォリオに 占める割合 (%)	純資産に 占める割合 (%)
カナダ	34.1	33.0
インドネシア	22.0	21.2
メキシコ	21.1	20.4
国際機関 - 多国籍	19.1	18.5
ドイツ	3.7	3.6
	100.0	96.7

◆損益計算書および純資産変動計算書

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2022年2月28日に
終了した会計年度
(単位：日本円)

収益：		
受取利息	JPY	352,746,489
銀行預金利息		25,446
その他の収益		7,233,197
収益合計		360,005,132
費用：		
運用報酬		18,811,313
預託報酬		1,743,771
管理報酬		9,614,482
専門家報酬		1,491,961
年次税		712,520
銀行借入利息		478,106
名義書換代理人報酬		85,292
印刷費用		72,245
その他費用		736,834
費用合計		33,746,524
投資純利益		326,258,608
実現純（損）益内訳：		
投資		199,692,567
外貨換算		(183,117,418)
当期実現純利益		342,833,757
評価（損）益の純変動額内訳：		
投資		292,146,038
運用による純資産の純増加額		634,979,795
受益証券の申込に係る受取代金		106,308,870
受益証券の買戻に係る支払純額		(924,473,805)
収益分配金		(652,333,612)
期首純資産		7,562,485,017
期末純資産	JPY	6,726,966,265

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2021年10月12日）
（2020年10月13日～2021年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
8期(2017年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2020年10月12日	10,025		—
10月末	10,025		0.0
11月末	10,025		0.0
12月末	10,024		△0.0
2021年1月末	10,024		△0.0
2月末	10,024		△0.0
3月末	10,024		△0.0
4月末	10,024		△0.0
5月末	10,024		△0.0
6月末	10,024		△0.0
7月末	10,024		△0.0
8月末	10,023		△0.0
9月末	10,023		△0.0
(期 末)			
2021年10月12日	10,023		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年10月13日～2021年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,025円の基準価額は、期間末に10,023円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

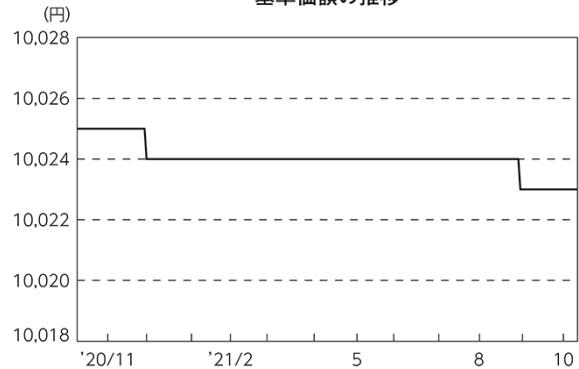
- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.09%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2020/10/12	2020/10/13	2021/08/31	2021/10/12
10,025円	10,025円	10,023円	10,023円

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2021年10月12日現在)

2021年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,128,083	% 100.0
投資信託財産総額	1,128,083	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			1,128,083,201
(B) 負債				1,128,083,201
	未払解約金			2,243,646
	未払利息			2,243,348
				298
(C) 純資産総額(A-B)				1,125,839,555
	元本			1,123,207,498
	次期繰越損益金			2,632,057
(D) 受益権総口数				1,123,207,498口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,023円

(注) 当ファンドの期首元本額は886,572,186円、期中追加設定元本額は632,898,400円、期中一部解約元本額は396,263,088円です。

(注) 2021年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	813,604,225円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	1,009,598円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	144,398,955円	・日興マネー・アカウント・ファンド	1,004,347円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	23,567,575円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	767,047円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	17,087,728円	・日興グラビティ・ファンド	728,091円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	13,715,420円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	617,119円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	13,252,514円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	378,361円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	9,595,620円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	334,265円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,918,306円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	328,616円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	7,756,251円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	315,851円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	7,325,378円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	307,458円
・世界標準債券ファンド	6,868,613円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	214,081円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,581,650円	・グローバル株式トップフォーカス	213,583円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	154,691円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	5,749,668円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	4,825,092円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	91,586円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	4,759,510円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	71,604円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	4,256,314円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	3,233,491円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,094,075円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,445,197円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	19,904円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,898,319円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グリーン世銀債ファンド	1,880,386円	・DC世界株式・厳選投資ファンド	9,977円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,463,018円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,404,460円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	1,330,360円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,276,352円		
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,174,786円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0023円です。

○損益の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 135,779
	受取利息		277
	支払利息		△ 136,056
(B)	当期損益金(A)		△ 135,779
(C)	前期繰越損益金		2,192,863
(D)	追加信託差損益金		1,525,067
(E)	解約差損益金		△ 950,094
(F)	計(B+C+D+E)		2,632,057
	次期繰越損益金(F)		2,632,057

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2020年10月13日から2021年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。